

中国語学中国文学

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター
中国語学中国文学特論Ⅰ	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	前期 火曜4限
中国語学中国文学特論Ⅱ	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	後期 火曜4限
中国語学中国文学史総合 演習Ⅰ	中国語学史中国文学史上 の諸問題	2	矢田 尚子、土屋 育 子、張 佩茹	前期 月曜4限
中国語学中国文学史総合 演習Ⅱ	中国語学史中国文学史上 の諸問題	2	矢田 尚子、土屋 育 子、張 佩茹	後期 月曜4限
中国語学中国文学研究演 習Ⅰ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	前期 金曜2限
中国語学中国文学研究演 習Ⅱ	中国近現代文学研究	2	城山 拓也	後期 水曜2限
中国語学中国文学研究演 習Ⅲ	中国戯曲文学研究	2	土屋 育子	前期 水曜2限
中国語学中国文学研究演 習Ⅳ	中国戯曲文学研究	2	土屋 育子	後期 金曜2限
中国語文化論研究演習Ⅰ	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	前期 月曜5限
中国語文化論研究演習Ⅱ	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	後期 月曜5限

科目名：中国語学中国文学特論 I

曜日・講時：火曜 4 限

開講学期：前期 **単位数：**2

担当教員：張 佩茹

コード：LM12406, **科目ナンバリング：**LGH-LIT601E, J, **使用言語：**日本語／中国語

1. 授業題目：現代中国語の諸相

2・授業の目的と概要：現代中国語の言語的特徴について、理解を深めることを目的とする。現代中国語に関する概説を読み、その全体像をある程度把握したうえ、中国語学における重要な概念や構文、さらに、問題意識の置き方や研究手法について学習する。

3. 学習の到達目標：中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

基本的に講義形式で行うが、演習も取り入れる。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 世界のなかの中国語(1)

第3回 世界のなかの中国語(2)

第4回 中国語の音(1)

第5回 中国語の音(2)

第6回 中国語の音(3)

第7回 中国語の音(4)

第8回 中国語の音(5)

第9回 中国語の文字

第10回 中国語の語彙(1)

第11回 中国語の語彙(2)

第12回 中国語の語彙(3)

第13回 中国語の語彙(4)

第14回 中国語の語彙(5)

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：授業への取り組み：50%

課題：50%

6. 教科書および参考書：『中国語はじめの一步 [新版]』木村英樹、筑摩書房、2017 年

7. 授業時間外学習：予習：教科書の指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。

復習：教科書や関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学中国文学特論Ⅱ

曜日・講時：火曜 4 限

開講学期：後期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM22406, 科目ナンバリング：LGH-LIT602E, J, 使用言語：日本語／中国語

1. 授業題目：現代中国語の諸相

2・授業の目的と概要：現代中国語の言語的特徴について、理解を深めることを目的とする。現代中国語に関する概説を読み、その全体像をある程度把握したうえ、中国語学における重要な概念や構文、さらに、問題意識の置き方や研究手法について学習する。

3. 学習の到達目標：中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

基本的に講義形式で行うが、演習も取り入れる。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 中国語の文法(1)

第3回 中国語の文法(2)

第4回 中国語の文法(3)

第5回 中国語の文法(4)

第6回 中国語の文法(5)

第7回 中国語の文法(6)

第8回 中国語の文法(7)

第9回 中国語の文法(8)

第10回 中国語の文法(9)

第11回 中国語のパフォーマンス(1)

第12回 中国語のパフォーマンス(2)

第13回 中国語のパフォーマンス(3)

第14回 中国語のパフォーマンス(4)

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：授業への取り組み：50%

課題：50%

6. 教科書および参考書：『中国語はじめの一步 [新版]』木村英樹、筑摩書房、2017 年

7. 授業時間外学習：予習：教科書の指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。

復習：教科書や関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学中国文学史総合演習 I

曜日・講時：月曜 4 限

開講学期：前期 **単位数：**2

担当教員：矢田 尚子、土屋 育子、張 佩茹

コード：LM11403, **科目ナンバリング：**LGH-LIT604J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国語学史中国文学史上の諸問題

2・授業の目的と概要：【目的】

1. 中国語学・中国文学の各分野について理解を深める。
2. 研究発表の方法と論文作成の方法を学ぶ。
3. 教員・他の受講生からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
4. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を学ぶ。

【概要】

受講生が輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。

3. 学習の到達目標：上記の【目的】の1～4。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

5. 成績評価方法：出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーション (50%)。

6. 教科書および参考書：受講生各自の準備するレジュメ。

7. 授業時間外学習：発表者：プレゼンテーションの準備。

発表者以外の受講生：三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学中国文学史総合演習Ⅱ

曜日・講時：月曜4限

開講学期：後期 単位数：2

担当教員：矢田 尚子、土屋 育子、張 佩茹

コード：LM21402, 科目ナンバリング：LGH-LIT605J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中国語学史中国文学史上の諸問題

2・授業の目的と概要：【目的】

1. 中国語学・中国文学の各分野について理解を深める。
2. 研究発表の方法と論文作成の方法を学ぶ。
3. 教員・他の受講生からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
4. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を学ぶ。

【概要】

受講生が輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。

3. 学習の到達目標：上記の【目的】の1～4。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

5. 成績評価方法：出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーション (50%)。

6. 教科書および参考書：受講生各自の準備するレジュメ。

7. 授業時間外学習：発表者：プレゼンテーションの準備。

発表者以外の受講生：三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習 I

曜日・講時：金曜 2 限

開講学期：前期 **単位数：**2

担当教員：矢田 尚子

コード：LM15206, **科目ナンバリング：**LGH-LIT606E, J, **使用言語：**日本語と中国語

1. 授業題目：楚辞文学研究

2・授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について

3. 学習の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

5. 成績評価方法：授業参加態度 50%、発表内容 50%

6. 教科書および参考書：教材は授業開始時に配布する。

7. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

復習：担当者は、授業中の議論を通し

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ

曜日・講時：水曜 2 限

開講学期：後期 **単位数：**2

担当教員：城山 拓也

コード：LM23206, **科目ナンバリング：**LGH-LIT607E, J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：中国近現代文学研究

2・授業の目的と概要：本授業では中国の作家・汪曾祺の短編小説「受戒」の読解を通じて、中国近現代文学の基本的な知識を学ぶことを目的としています。

授業は出席者による発表と質疑応答によって進めます。

3. 学習の到達目標：(1) 中国近現代文学の読解力を向上させる。

(2) 中国近現代文学を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

(3) わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおり。

1. ガイダンス

2. 発表と質疑応答 (1)

3. 発表と質疑応答 (2)

4. 発表と質疑応答 (3)

5. 発表と質疑応答 (4)

6. 発表と質疑応答 (5)

7. 発表と質疑応答 (6)

8. 発表と質疑応答 (7)

9. 発表と質疑応答 (8)

10. 発表と質疑応答 (9)

11. 発表と質疑応答 (10)

12. 発表と質疑応答 (11)

13. 発表と質疑応答 (12)

14. 発表と質疑応答 (13)

15. 発表と質疑応答 (14)

5. 成績評価方法：発表への取り組み 50%・授業参加度 50%

6. 教科書および参考書：テキストは授業開始時に配布する。

7. 授業時間外学習：指定したテキストの授業当日の該当箇所を予習してくる。また、宿題をやることを中心に復習を徹底すること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅲ

曜日・講時：水曜 2 限

開講学期：前期 **単位数：**2

担当教員：土屋 育子

コード：LM13205, **科目ナンバリング：**LGH-LIT608E, J, **使用言語：**日本語、中国語

1. 授業題目：中国戯曲文学研究

2・授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学作品を読解します。作品の読解を通して中国古典文学の基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力の向上を目指します。授業は出席者による発表と質疑応答によって進めます。前期は主に元雑劇を読みます。

- 3. 学習の到達目標：**(1) 中国古典文の読解力を向上させる。
(2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
(3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
(4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化したかを理解する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. ガイダンス
2. 発表と質疑応答 (1)
3. 発表と質疑応答 (2)
4. 発表と質疑応答 (3)
5. 発表と質疑応答 (4)
6. 発表と質疑応答 (5)
7. 発表と質疑応答 (6)
8. 発表と質疑応答 (7)
9. 発表と質疑応答 (8)
10. 発表と質疑応答 (9)
11. 発表と質疑応答 (10)
12. 発表と質疑応答 (11)
13. 発表と質疑応答 (12)
14. 発表と質疑応答 (13)
15. 発表と質疑応答 (14)

5. 成績評価方法：授業への取り組み（レジュメ提出含む）：50%

発表（資料作成を含む）：50%

6. 教科書および参考書：テキスト・資料等は、Google Classroomより配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

7. 授業時間外学習：辞書類やデータベース等を活用して、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を見るだけでなく、前後の文脈も考慮した丁寧な読解をこころがけましょう。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習IV

曜日・講時：金曜 2 限

開講学期：後期 **単位数：**2

担当教員：土屋 育子

コード：LM25207, **科目ナンバリング：**LGH-LIT609E, J, **使用言語：**日本語、中国語

1. 授業題目：中国戯曲文学研究

2・授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学作品を読解します。作品の読解を通して中国古典文学の基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力の向上を目指します。授業は出席者による発表と質疑応答によって進めます。後期は主に元雑劇を読みます。

- 3. 学習の到達目標：**(1) 中国古典文の読解力を向上させる。
(2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
(3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
(4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化したかを理解する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. ガイダンス
2. 発表と質疑応答 (1)
3. 発表と質疑応答 (2)
4. 発表と質疑応答 (3)
5. 発表と質疑応答 (4)
6. 発表と質疑応答 (5)
7. 発表と質疑応答 (6)
8. 発表と質疑応答 (7)
9. 発表と質疑応答 (8)
10. 発表と質疑応答 (9)
11. 発表と質疑応答 (10)
12. 発表と質疑応答 (11)
13. 発表と質疑応答 (12)
14. 発表と質疑応答 (13)
15. 発表と質疑応答 (14)

5. 成績評価方法：授業への取り組み（レジュメ提出含む）：50%

発表（資料作成を含む）：50%

6. 教科書および参考書：テキスト・資料等は、Google Classroomより配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

7. 授業時間外学習：辞書類やデータベース等を活用して、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を見るだけでなく、前後の文脈も考慮した丁寧な読解をこころがけましょう。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語文化論研究演習 I

曜日・講時：月曜 5 限

開講学期：前期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM11504, 科目ナンバリング：LGH-PHI617J, 使用言語：日本語／中国語

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2・授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

3. 学習の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

輪読形式で進める。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 研究論文1 (1)

第3回 研究論文1 (2)

第4回 研究論文1 (3)

第5回 研究論文1 (4)

第6回 研究論文2 (1)

第7回 研究論文2 (2)

第8回 研究論文2 (3)

第9回 研究論文2 (4)

第10回 研究論文3 (1)

第11回 研究論文3 (2)

第12回 研究論文3 (3)

第13回 研究論文3 (4)

第14回 研究論文3 (5)

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

6. 教科書および参考書：<教科書>プリントを配布する。

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

7. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：中国語文化論研究演習Ⅱ

曜日・講時：月曜5限

開講学期：後期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM21503, 科目ナンバリング：LGH-PHI618J, 使用言語：日本語／中国語

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2・授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

3. 学習の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

輪読形式で進める。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 研究論文4 (1)

第3回 研究論文4 (2)

第4回 研究論文4 (3)

第5回 研究論文4 (4)

第6回 研究論文5 (1)

第7回 研究論文5 (2)

第8回 研究論文5 (3)

第9回 研究論文5 (4)

第10回 研究論文6 (1)

第11回 研究論文6 (2)

第12回 研究論文6 (3)

第13回 研究論文6 (4)

第14回 研究論文6 (5)

第15回 期末まとめ

5. 成績評価方法：授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

6. 教科書および参考書：<教科書>プリントを配布する。

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

7. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：